

7月市長定例記者発表要旨

と き 平成27年7月1日（水） 11時～12時

ところ 庁議室

1. 大手前開発基本計画の策定について

本市では、昨年12月に大手前開発基本計画協議会及び市民会議からいただいた「大手前開発基本計画提案書」をもとに、基本計画の内容について検討を重ねてまいりました。本年3月には「基本計画面案」を作成し、地元、市議会等への説明、パブリックコメント等を経て、この度、「大手前開発基本計画」を策定いたしました。

計画では、大手前地区の将来像を「歴史・文化・人が出会う 佐伯市の交流拠点」とし、計画の方向性を「様々な人たちが交流する拠点」、「文化・芸術・情報発信の拠点」、「歴史とにぎわいのあるまち」及び「誰もが安全で安心できるまち」といたしました。具体的には、老朽化が進む佐伯文化会館の代替機能も持つ多目的ホール、日常的な交流や憩いの場となる「まちの部屋」をはじめ、屋外施設である「まちの広場」、バスターミナル、区域内道路の整備等を行うこととしています。

事業費は、概算で約63億円を見込んでおりますが、国の補助金等を活用し、市の負担をできるだけ軽くしたいと考えております。また、事業期間は平成27年度から31年度までの5年間で予定しています。

2. 東九州自動車道（佐伯IC～蒲江IC間）開通後の効果について

本年3月21日に東九州自動車道（佐伯IC～蒲江IC間）が開通して3か月が経過しました。開通の効果として、蒲江地区における救急活動及び地域活性化について整理いたしました。

【効果の概観】 ※詳細は別紙資料のとおり

① 救急活動

- (ア) 蒲江地域から市内医療機関への搬送時間が短縮（平均約6分）
- (イ) 搬送時の走行性向上、患者の負担軽減

② 地域活性化

蒲江地域の3観光施設（マリンカルチャーセンター、道の駅かまえ、かまえインターパーク）の合計入込客数が増加（昨年同時期比 約1.9倍）

3. 市長ふれあいトークの実施について

少子高齢化が急速に進行するなか、各地域においては、人口減少に歯止めをかけ、それぞれの特色を生かした地域づくりをどのように進めていくか、ということが喫緊の課題となっています。

これらの課題について、地域の皆様と直接対話しながら各地域の将来像をともに考え、「地方創生」、地域活性化に資することを目的に、今年も7月6日（月）の佐伯東地区を皮切りに、「市長ふれあいトーク」を実施いたします。

また、この機会に合わせ、各地区からの道路、河川等の改善要望箇所等について、直接自治委員の皆様から説明をしていただきながら現地視察も行うことにしています。

日程は別紙のとおりとなっています。地域の「生の声」をお伺いするとともに、多くの皆様と幅広く意見交換をさせていただきたいと考えております。

4. 小中学校教育用タブレット端末の整備について

この度、市内の全小中学校に教育用タブレット端末を整備することになりました。

教員、児童・生徒によるICT（情報通信技術）活用の推進は学習指導要領に掲げられており、各地の学校現場でも、ICTの活用が学習意欲や学力の向上につながるという結果が出ています。

本市では、平成24年度から26年度にかけて、佐伯東小学校及び西浦小学校で児童1人に1台のタブレット端末を試験導入し、その有効性を検証してまいりました。その結果、タブレット端末の活用により、教員の教材作成や授業展開の効率化が図られるとともに、変化に富んだ魅力的な授業を実現することで、児童・生徒の思考力、判断力、表現力等をより一層伸ばすことが可能であるという検証結果が得られました。

この結果を受け、本年8月から、市内の小学校27校及び中学校13校に教育用タブレット端末を整備いたします。台数は各学校の「学級数プラス1台」とし、小学校227台、中学校96台、計323台を予定しています。事業費は、小中学校合わせて約5,600万円であります。

これだけの規模でウィンドウズタブレットを整備するのは県下でも珍しく、ICTの活用による学校教育の一層の充実が図られるものと、大いに期待しているところです。

5. 野岡緑道ふれあい広場「タイムカプセル」掘出しについて

平和祈念館やわらぎ横の「野岡緑道ふれあい広場」には、平成7年の完成当時、旧佐伯市内の小学6年生と中学3年生の児童・生徒が「20年後に開けよう」と、学校ごとにタイムカプセルを埋めています。今年がタイムカプセルを掘り出す年に当たりますが、20年を経過していることから、関係者の把握が困難な状況となっています。

市といたしましては、当時、埋設を行った方々を把握し掘出しイベントを実施するため、市報、ホームページ、ケーブルテレビ等で関係者への呼びかけを行うことにしておりますが、ぜひとも報道機関の皆様にもご協力をお願いしたいと思います。

イベントは別紙資料のとおり行う予定ですが、まずは、埋設に携わった皆さんからご連絡をいただき、関係者を把握してイベントの実施につなげていきたいと考えておりますので、何とぞよ

ろしくお願いいたします。

6. プレミアム付き商品券発行事業について

市内での消費喚起を促し、中小事業者の活性化を図ることを主な目的に、今年も、「プレミアム付き商品券（プレ券）発行事業」を実施します。

今回は、国の「地域住民生活等緊急支援のための交付金」による国・県からの助成を受け、「味力全開！元気創出さいきプレ券 903（東九州道開通記念・佐伯市合併 10 周年記念）」と銘打って、過去最大規模となる総額 14 億 4,000 万円分のプレミアム付き商品券を販売します。

【プレ券（1冊）の内容】

A券（額面 1,000 円）7 枚 ← 「市内本店」の登録店

B券（額面 1,000 円）5 枚 ← 「市内本店」 + 「市外本店」の登録店

12 枚 計 12,000 円分

↳ 10,000 円で販売 **プレミアム率 20 パーセント**

また今回は、今年 4 月 1 日現在で満 18 歳以上の市民に「購入引換券」を郵送し、これを持参して購入していただく形をとりました。購入引換券の有効期限は 10 月 5 日（月）までとなっていますので、お早めにお買い求めください。

販売開始は 7 月 4 日（土）で、4 日、5 日（日）は 10 時から 16 時まで、三余館の特設会場で先行販売を行います。7 月 6 日（月）からは、佐伯商工会議所、番匠・あまべ両商工会、市役所 1 階売店で販売いたします。

地域経済の活性化のため、多くの市民の皆様にご利用いただきたいと思います。

5. 各種行事について

7 月に実施される様々な行事について、いくつかご紹介いたします。

(1) 九州道の駅連絡会総会・研修会

総 会：7 月 2 日（木）14 時～

視察研修：7 月 3 日（金）8 時 30 分～

問い合わせ：観光課 22-3942

(2) 小野正嗣氏市民栄誉賞贈呈式及び講演会

贈呈式：7 月 5 日（日）11 時～、ホテル金水苑

講演会：7 月 5 日（日）13 時～、佐伯文化会館大ホール

問い合わせ：秘書政策課 22-4104

(3) 第 28 回河川愛護デー

7月5日（日）8時～、池船スポーツ公園（中央会場）ほか市内各地

問い合わせ：建設課河川砂防係 22-3532

(4) 市道沖松浦線「二又トンネル」貫通式

7月10日（金）11時～、鶴見沖松浦

問い合わせ：建設課道路改良係 22-3538

(5) 第9回かぶとむし木登り競争大会

7月12日（日）10時～、直川憩いの森公園

問い合わせ：直川振興局地域振興課 58-2111

(6) 第1回地区交流こんばんはバレーボール大会

7月13日（月）～18日（金）、総合体育館

問い合わせ：体育保健課 22-4062

(7) ソラリア西鉄ホテル「グルメストーリー第4章」

7月21日（火）19時～、福岡市ソラリア西鉄ホテル

問い合わせ：観光課 22-3942

(2)の「小野正嗣氏市民栄誉賞贈呈式及び講演会」につきましては、前回もご紹介しました。特に講演会については、市制施行10周年記念事業と位置付けております。